

1st

The first Conference on Medical Checkup of the Brain

第1回

脳の人間ドック研究会

期 日

平成4年6月27日(土)

会 場

札幌全日空ホテル

第 1 回
脳の間人ドック研究会
プログラム

平成4年6月27日(土)

会 場

札幌全日空ホテル

〒060 札幌市中央区北3条西1丁目 TEL(011)221-4411

A会場：24F 白楊の間

B会場：3F 藻岩の間

昼食懇親会場：23F 白樺の間

会 長

端 和夫

(札幌医科大学脳神経外科)

世 話 人

戸谷重雄 端 和夫 早川 徹 福井仁士 吉本高志

幹 事

藤原 悟 中川俊男

研究会事務局

(平成4年6月27日)

札幌全日空ホテル 23F 研究会本部 (楓の間)

TEL (011) 221-4411

期間外

医療法人新さっぽろ脳神経外科病院

TEL (011) 891-2500

FAX (011) 891-5100

ご 挨拶

近年、画像診断や脳機能検査法が進歩し、少ない侵襲で、脳の形や機能の異常が発見できるようになりました。

わが国では、世界に類を見ないほど高度な検査機能が広く普及し、脳神経外科の施設が数多く存在しております。したがって、日本で脳の健康診断を行うという試みが発生するのは、ごく当然の成行きでありましょう。その結果、現在、多くの医療機関でいわゆる「脳の間人ドック」（脳ドック）が実施され始めております。

これは脳卒中や痴呆などの、社会的に深刻な関心事である疾患を積極的に予防するという、将来の大きな課題解決への第一歩であるかもしれません。

しかし、現時点では、それに費やす労力と費用が適切かどうか、さらに検診の結果がどの程度有効な予防につながるかなど、脳ドックを評価するための資料は、未だほとんど揃っていません。

この課題の解決は、急速に脳ドックが普及しつつある現在、急いで取り掛からなければならない問題で、そのための様々な情報の交換が必要です。例えば、対象となる疾患の疫学的所見や自然経過、また、各種の検査法の、個々の、あるいはそれらを組み合わせた場合の精度や効率、それらによって発見される異常所見と対象疾患との関係、さらに疾患そのものの治療法の選択、などが挙げられます。

本研究会は、以上のような認識に立って、脳ドックが、単に新しい医療サービスの形というだけでなく、予防医学の新しい分野として正しい進歩を遂げることを目的として、平成4年3月に設立されました。

この度の第1回の学術集会では、脳ドックの役割に関する基本的認識を得るために、また、現実に使用される検査法の代表的なものと思われる、MRアンギオグラフィーの精度と限界を知るために、東京大学中央医療情報部の櫻井恒太郎先生に「データ処理からみた人間ドックの役割」、北海道大学放射線科の宮坂和男先生に「脳MRアンギオグラフィー」という、2題の特別講演をお願いしました。

演題募集は、上記の諸問題を念頭に置いて、脳疾患の疫学と自然経過、脳卒中のリスクファクター、脳高次機能検査、無症候性閉塞性脳血管障害、無症候性脳腫瘍、MRアンギオグラフィー、未破裂脳動脈瘤の診断と治療方針、「脳の間人ドック」の検診システム、その他、という項目で行いました。

その結果、85題にもおよぶ演題応募があり、この問題に関する関心の高さが窺われました。中でもMRアンギオグラフィーの演題がその内の1/3をしめ、この方法に対する期待がたいへん大きいこと、当面、MRIを中心にした検診システムでの脳ドックが普及するであろうことが示されました。応募演題の中から脳ドックの現状についてのものを集め、集中討議として「脳の間人の現在」というセッションを作り、早川、福井両教授に座長をお願いしました。

我が国における脳ドックの現状が明らかにされ、将来の問題点が浮き彫りにされるものと思います。

本研究会における学問的な情報交換を通じて、脳ドックの予防医学における位置づけと、正しい在り方が明らかにされることを願っております。

第1回脳の間人ドック研究会
会長 端 和 夫

ご 案 内

1 参会受付

- 1) 参会受付は24Fロビーで午前7時30分から始めます。
- 2) プログラムに綴り込みの参会者カードに、氏名、所属を記入し、参会費7,000円と共に受付に提出しネームカードを受け取って下さい。ネームカードのない方の入場はお断り致します。
- 3) プログラムは各自ご持参下さい。新たに必要の方は、1部1,000円にて販売致します。
- 4) 研究会に未入会の方は、新入会受付で所定の手続きをお願い致します。(2,000円)

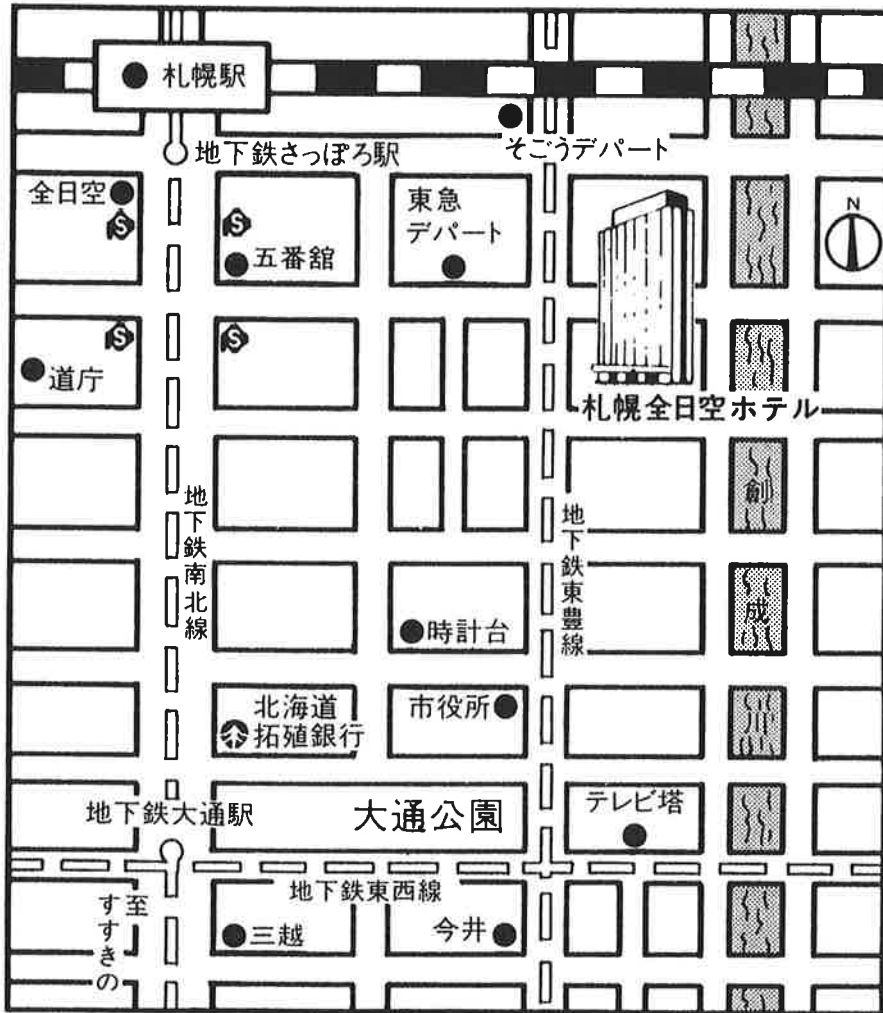
2 発表

- 1) 講演時間は5分です。制限時間1分前に青ランプ、終了時に赤ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。
- 2) スライド
 - (1)スライドは35mmサイズのものでプラスチックのフレームのものにして下さい。
 - (2)スライド映写は各会場とも2面です。スライドは左右同時進行致しますので、ご遠慮下さい。
 - (3)演者は発表開始30分前までにスライド受付を済ませて下さい。
 - (4)発表終了後スライドは速やかにスライド受付にてお受取下さい。
- 3) 討論時間は2分です。スライドは使用できません。

3 昼食(懇親会)

昼食時に23階白樺の間にて、昼食懇親会を開催致します。参会者は無料ですので気軽に御参加下さい。また、会議中の無料飲物コーナーもご用意致しますので、ご利用下さい。

会場案内図



- 地下鉄東豊線札幌駅21番出口直結
- 千歳空港～ホテル直行バス、
所要時間1時間
- JR札幌駅徒歩5分

 **札幌全日空ホテル**

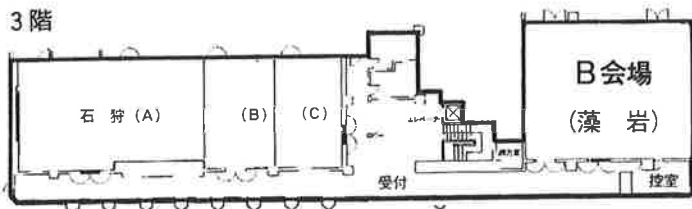
札幌市中央区北3条西1丁目 TEL(011)221-4411

会場見取図

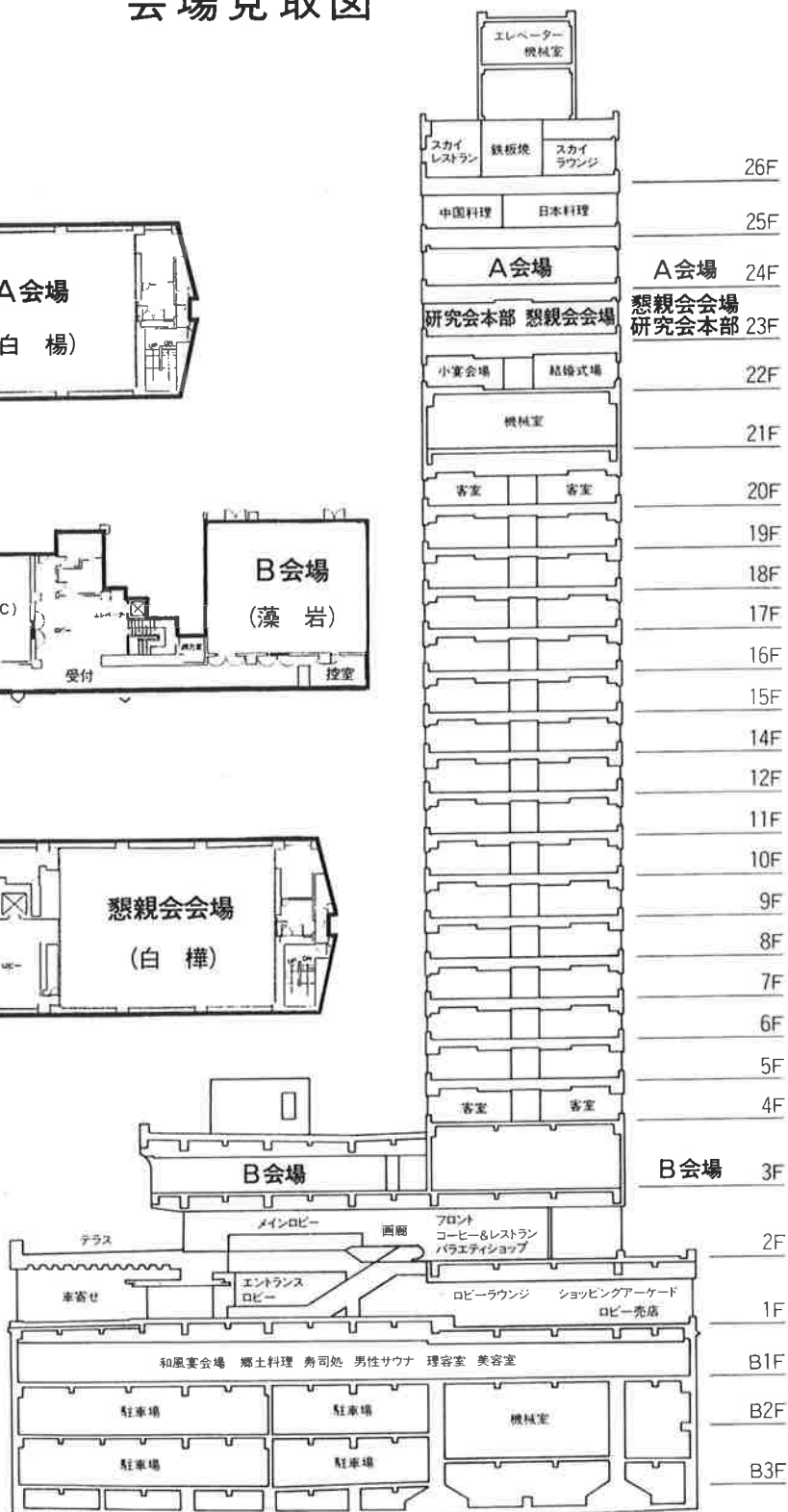
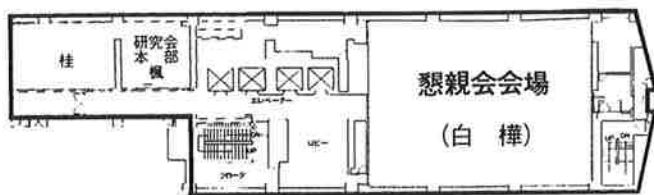
24階



3階



23階



第1回脳の間人ドック研究会

平成4年6月27日(土)

A 会 場

開会の挨拶(7:55~8:00)

会長 端 和夫

疫 学(8:00~8:28)

座長 岩田金治郎

A-1. 頭痛患者の臨床的分析

犬山中央病院 脳神経外科 荒木有三

A-2. 勤労者の脳卒中112名の集計からみた脳動脈瘤破裂前スクリーニングの重要性

自治医科大学附属大宮医療センター脳神経外科 岩佐英明

A-3. 脳卒中患者の疫学調査-神戸市脳卒中登録制度に連帯して-

栄昌会吉田病院脳神経外科 福森豊和

A-4. Multiple High Intensity of T2 Eeighted Imageの年代別発生頻度

寺元記念病院脳神経外科 伊藤 守

リスクファクター(8:28~9:03)

座長 坪川 孝志

A-5. 脳の間人ドックにて発見された無症候性脳梗塞患者におけるリスクファクターの検討

(財)香川成人医学研究所 長尾修自

A-6. 「脳の間人ドック」における無症候性脳梗塞と危険因子の検討

新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男

A-7. 60才以上の通常生活者のMRI所見について-『健やか健康診断』の結果から-

禎心会病院 脳神経外科 鷺見佳泰

A-8. 脳血管障害におけるLipoprotein(a)の異議-オッズ比による検討-

朋仁会岡本病院(広島市) 川西昌弘

A-9. 心房細動患者における脳塞栓発症の危険因子としての左房内モヤモヤエコーの意義

砂川市立病院 循環器内科 平林高之

閉塞性病変(9:03~9:38)

座長 和賀 志郎

A-10. 抗血小板療法と脳梗塞の再発

倉敷中央病院脳神経外科 藤田雄三

A-11. Transcranial Doppler法による脳動脈硬化度の評価

聖マリアンナ医科大学第2内科 田賀龍子

A-12. 無症候性頸動脈狭窄症の組織学的特徴

大阪大学脳神経外科 山田和雄

A-13. スクリーニングテストのための頸部頸動脈CTの検討

十和田市立中央病院 脳神経外科 畑中光昭

A-14. 脳血管傷害のスクリーニング検査としてのdynamic CT-特にめまいを訴える例への応用-

社会保健高岡病院脳神経外科 長堀 毅

高次脳機能（9：38～10：20）

座長 神野哲夫

- A-15. 脳血管障害の社会復帰例における大脳高次機能
長野赤十字病院脳神経外科 大塚 顕
- A-16. 高次脳機能検査の取り入れ方
浜松医科大学脳神経外科 今村陽子
- A-17. 脳高次機能検査と脳梗塞（多発小梗塞）
岡山旭東病院脳神経外科 土井章弘
- A-18. うつ状態と潜在性脳梗塞—脳ドックにおける検討—
島根医科大学第三内科 小林祥泰
- A-19. P-300 と閉塞性脳血管障害
三木市立三木市民病院脳神経外科 藤原 潔
- A-20. 新しい早期痴呆診断法（浜松方式）を用いた地域脳機能検診の試み
浜松医療センター脳神経外科 中山禎司

未破裂脳動脈瘤 I（10：20～11：09）

座長 斎藤 勇

- A-21. MRを用いた未破裂脳動脈瘤描出法—MRアンギオを使用しない検査法—
国際親善総合病院 脳神経外科 遠藤昌孝
- A-22. IVDSAによる未破裂脳動脈瘤の検出
秋葉病院 脳神経外科 田澤俊明
- A-23. Transcranial color flow image による脳動脈瘤の描出と今後の展望
東京慈恵会医科大学脳神経外科 阿部 聡
- A-24. 脳神経外科外来における脳動脈瘤のスクリーニングについて—Transcranial Doppler(TCD)による検討—
久留米大学脳神経外科 菊池直美
- A-25. 脳動脈瘤検出のための3次元経頭蓋ドップラー法(3D-TCD)の有用性
脳血管研究所美原記念病院 管 貞郎
- A-26. 頭蓋内血流音分析による未破裂脳動脈瘤の診断
宇部興産中央病院脳神経外科 黒川 泰
- A-27. 未破裂脳動脈瘤のscreening systemについて
東邦大学医学部第二脳神経外科 岡 考

特別講演 I（11：15～12：05）

司会 端 和夫

脳MRアンギオグラフィー

北海道大学放射線科 助教授 宮坂 和男 先生

昼食懇親会（12：05～13：30）

於：23F 白樺の間

特別講演Ⅱ (13:30~14:20)

司会 端 和夫

データ処理からみた人間ドックの役割

東京大学中央医療情報部 助教授 櫻井 恒太郎 先生

無症候性腫瘍Ⅰ (14:20~14:55)

座長 牧 豊

- A-28. 無症候群性Pineal Cyst の検討
藤田保健衛生大学脳神経外科 安倍雅人
- A-29. MRⅠにより発見された無症候性脳腫瘍の2例
東京慈恵会医科大学第3病院 脳神経外科 海渡信義
- A-30. MRⅠ脳検診とGAMMA KNIFE 治療
藤枝平成記念病院 GAMMA UNIT CENTER 脳神経外科 平井達夫
- A-31. 無症候性脳腫瘍15手術例の検討
筑波記念病院 脳神経外科 伊藤政美
- A-32. Incidental brain tumor
藤田保健衛生大学脳神経外科 今井文博

無症候性脳腫瘍Ⅱ、てんかん (14:55~15:23)

座長 朝倉哲彦

- A-33. 無症候性良性脳腫瘍の特徴と治療適応の検討
神戸大学脳神経外科 朝田雅博
- A-34. 無症候性髄膜腫29例の検討
財団法人広南会広南病院脳神経外科 金木慎哉
- A-35. 無症候性髄膜腫の転帰
山形大学 脳神経外科 山田潔忠
- A-36. てんかん外科に於ける長時間脳波・ビデオ記録
旭川医科大学 脳神経外科 田中達也

(集中討議) 脳ドックの現在 (15:23~17:00)

座長 福井仁士 早川 徹

- A-37. 当院の「脳の人間ドック」とその経験
財団法人広南会広南病院脳神経外科 藤原 悟
- A-38. 当院のMRI, MRA を用いた脳ドックの結果と、当院で発見された動脈瘤の検討
鷺谷病院 米山博史
- A-39. 脳の人間ドック61例の経験
熊本整形外科病院 弥富親秀
- A-40. 脳ドック検査におけるMRアンギオの有用性と問題点
中村記念病院脳神経外科 武田利兵衛
- A-41. 0.5 T MRⅠを応用した無侵襲脳ドック
黒沢病院高崎健康管理センター脳神経外科 岡田慶一

- | | | |
|-----------------------------------|---------------------|-------|
| A-42. MR angiographyを中心とした脳ドックの検討 | 厚南セントヒル病院脳神経外科 | 秋村龍夫 |
| A-43. “脳の間ドック”の現況と問題点 | 秋田県立脳血管研究センター・脳神経外科 | 波出石 弘 |
| A-44. 脳ドックの経験 MRIとMRA | 厚地脳神経外科病院 | 厚地政幸 |
| A-45. 脳の間ドックで発見された脳血管障害の検討 | 横浜新都市脳神経外科病院 | 浜田秀雄 |
| A-46. 脳ドックー当院の現状と問題点ー | 富士脳障害研究所附属病院・脳神経外科 | 塩川芳昭 |
| A-47. 「脳の間ドック」に関する諸問題 | 新さっぽろ脳神経外科病院 | 中川俊男 |

閉会の挨拶 (17:00~17:05)

会長 端 和夫

B 会 場

MRアンギオグラフィーⅠ (8:00~8:42)

座長 田村 晃

- B-1. 脳の間人ドックにおけるMRA-pulse sequence の最適化-
獨協医科大学 放射線科 佐藤俊彦
- B-2. 外来screening 検査としてのMRangiography (MRA) の最適撮影方向について
兵庫県立淡路病院脳神経外科・MR室 桑村圭一
- B-3. Screening としての頭部MRAngiography の有用性-撮像平面との関連について-
奈良県立医科大学 脳神経外科 西谷昌也
- B-4. 選択的脳血管MRアンギオグラフィー
芽ヶ崎徳洲会総合病院 脳神経外科 日高 聖
- B-5. Gd-DTPA 造影MRアンギオグラフィー
西諫早病院 脳神経外科 岩本邦憲
- B-6. 脳外科疾患におけるMR Angiographyの経験-特にContrast-enhancedMRAの意義について-
兵庫県立成人病センター脳神経外科 埴本勝司

MRアンギオグラフィーⅡ (8:42~9:10)

座長 松本 清

- B-7. 脳血管障害のscreening 及び術後早期のFollow up study としてのMR Angiography.
松阪中央総合病院脳神経外科 山本義介
- B-8. MRアンギオグラフィーによる脳血管障害の診断
横手クリニック 横手英義
- B-9. MR angiography230 例の経験
東京女子医科大学脳神経センター脳神経外科 塩川和彦
- B-10. 脳血管病変に関する3-D TOF法 MR angiographyの診断能力について
那須脳神経外科病院 堀越 徹

MRアンギオグラフィーⅢ (9:10~9:38)

座長 森竹浩三

- B-11. MR血管造影(MRA)での脳動脈瘤および狭窄閉塞性血管病変の評価
北海道大学脳神経外科 青樹 毅
- B-12. MRI angiography の有用性について DSA またはconventional angiographyとの比較
西宮協立脳神経外科病院 北村純司
- B-13. MRI・MRAによる非侵襲的脳ドック-検査の信頼性に対する検討と脳ドックの結果-
禎心会病院脳神経外科 上山憲司
- B-14. 冠動脈造影時IA-DSAおよび, MRAngiography(MRA)による無症候性頭頸部血管病変のスクリーニング
半田市立半田病院脳神経外科 岩田欣造

MRアンギオグラフィーⅣ (9:38~10:20)

座長 山浦 晶

- B-15. MRA(PC法)による頭蓋外頸動脈血管病変スクリーニングの現状
寺元記念病院脳神経外科 伊藤 守

- B-16. MRAによる頸部・錐体部内頸動脈の評価—狭窄・閉塞性病変とアーチファクト—
富山市民病院 脳神経外科 長谷川 健
- B-17. 3次元MR angiographyによる脳底動脈病変の診断
島根医科大学脳神経外科 加川隆登
- B-18. 閉塞性脳血管障害に対する2D/3D SPGR TOF法によるMRA とConventional Angiographyとの対比
上都賀総合病院脳神経外科 池田俊一郎
- B-19. 閉塞性脳血管障害（急性期・慢性期）の診断におけるMR angiographyの重要性
兵庫県立淡路病院脳神経外科・MR室 桑村圭一
- B-20. AVM 非出血例の初発症状とMRA 所見の分析
小牧市民病院脳神経外科 雄山博文

MRアンギオグラフィーV（10：20～11：02）

座長 吉本高志

- B-21. MRAngiography による脳動脈瘤の診断
戸田中央総合病院 脳神経外科 竹山英二
- B-22. MRangiography による未破裂脳動脈瘤検出と手術適応基準の提案
中津川市民病院脳神経外科 古瀬和寛
- B-23. MRアンギオグラフィー導入以後の未破裂脳動脈瘤自験例の検討
京都南病院 脳神経外科 幸地延夫
- B-24. MRアンギオグラフィーによる脳動脈瘤
福井総合病院 脳神経外科 辻 哲朗
- B-25. MRアンジオグラフィーによる脳動脈瘤の診断能
岡山旭東病院脳神経外科 土井章弘
- B-26. MRアンギオグラフィーによる脳動脈瘤のスクリーニング
蘇生会総合病院脳神経外科 竹市泰裕

未破裂脳動脈瘤Ⅱ（14：20～14：48）

座長 魚住 徹

- B-27. 未破裂脳動脈瘤の自然歴と治療方針
成田赤十字病院脳神経外科 平井伸治
- B-28. 脳動脈瘤の増大例
愛知医科大学脳神経外科 岩田金治郎
- B-29. 未破裂脳動脈瘤非手術例の長期予後
慶應義塾大学医学部 脳神経外科 荻野雅宏
- B-30. 重症くも膜下出血（SAH）の発生に関する危険因子の検討
神戸大学 脳神経外科 藤田勝三

未破裂脳動脈瘤Ⅲ（14：48～15：16）

座長 山田 弘

- B-31. MRアンギオグラフィー導入以前の未破裂脳動脈瘤自験例の検討
京都南病院 脳神経外科 幸地延夫
- B-32. 脳血管撮影による未破裂脳動脈瘤発見とそのリスク
大阪赤十字病院 脳神経外科 三國信啓
- B-33. 未破裂脳動脈瘤検診・治療の医療経済－医学判断学的検討－
兵庫県立姫路循環器病センター 脳神経外科 藤田稠清
- B-34. 未破裂脳動脈瘤の手術
釧路脳神経外科病院 斎藤孝次

未破裂脳動脈瘤Ⅳ（15：16～15：44）

座長 太田富雄

- B-35. 高齢者未破裂脳動脈瘤に対する治療方針の検討
神戸大学 脳神経外科 藤田勝三
- B-36. 未破裂脳動脈瘤の手術適応
(財)脳神経疾患研究所附属 南東北病院 脳神経外科 小泉仁一
- B-37. 「脳の間人ドック」における未破裂脳動脈瘤の手術適応
新さっぽろ脳神経外科病院 中川俊男
- B-38. 海綿静脈洞を開放して手術した無症候性未破裂C3, C2-3移行部動脈瘤の治療成績
札幌医科大学脳神経外科 丹羽 潤